

# autocult

Adams Probe 16 (イギリス, 1969)

デザイナーと小さなシリーズ

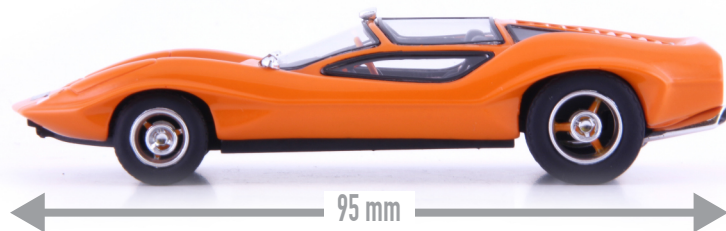
Scale 1/43

#05039

available

04/2022

Limited edition 333 Stk.



## たった3台で伝説を作った

今日、自動車メーカーについての話題で「アダムス・プローブ・モーター社」という名前を口に出しても、大抵の場合、怪訝な顔をされるだけである。イギリスの自動車産業に多少詳しい人でも、すぐに思いあたるとは限らない。その一方で、偉大なクラシック映画に詳しい人なら、すぐにスタンリー・キューブリックの映画「時計じかけのオレンジ」を思い浮かべるだろう。アダムス・プローブ・モーター社が製造した、フラットで角ばったオレンジの塗装のスポーツカー「デュランゴ95」という名前も、すぐにその映画と結びつくだろう。

1969年、このフラットスポーツカーがウィルトシャー州のブラッドフォード・オン・エイボンの生産工場を出発したとき、そのデザインは間違いなく英国車の中で最も華やかなもののひとつであった。そのフラットなスピードスターの一番高い部分でもわずか86cmで、ドアロックのキーを回すと、2つの

シートが自動的に後ろに移動し、ルーフが開き乗車を楽しむという巧妙な仕掛けが付いていた。極端なウェッジデザインのフロントエンド、折り畳み式のヘッドライト、そしてクラシックなバンパーを一切使用しないことで、ユニークで印象的、かつ先進的な外観を表現している。

エンジンは、オースチン1800の4気筒エンジンをベースに、シートの背後に直接配置したミッドエンジン方式である。「ヤンスピード・エンジニアリング」のエンジニアの手によって、エンジン排気量は1900ccに拡大され、出力も100hp近くまで高められた。車体は完全にグラスファイバー強化プラスチックでできていた。当初から、購入希望者はごく限られた人たちだけであった。3,650ポンドという価格から、プローブ16は間違いなく高価格帯に属していた。1969年の1年間にアダムス・プローブ・モーター社が工場生産したのは、わずか3台（4台という情報もある）

）だった。しかし、この少ない台数でも、プローブ16を不滅の存在にするには十分であった。

AutoCult GmbH  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

www.autocult-models.de